

ACTIVITY FRONT  
REPORT  
2024  
2023.04  
▼  
2024.03

活動レポート

ソフィアメディ

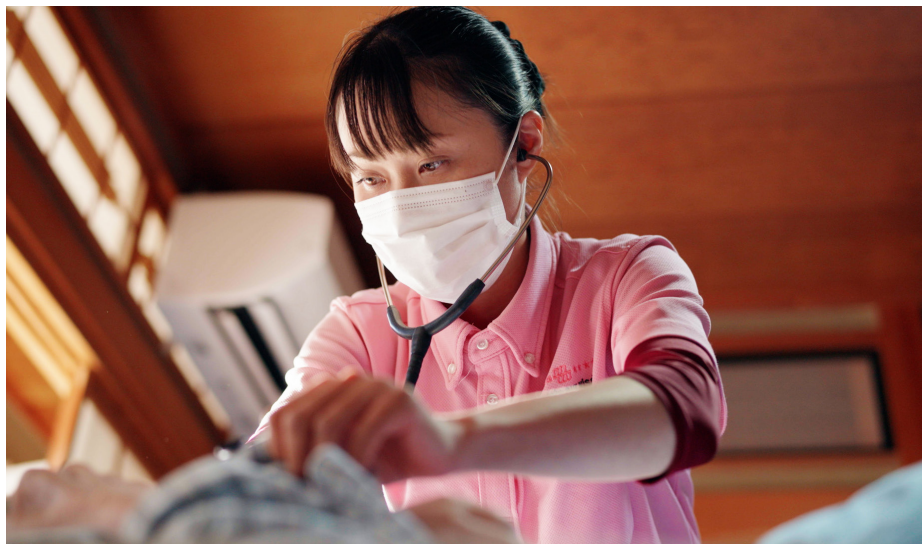


# 持続可能で質の高い 在宅療養環境を整備し 自分らしい人生の選択に貢献する

英知を尽くして「生きる」を見る。——医療の専門性と、お客様に寄り添う人間性。すべての英知(ソフィア)を尽くして、お客様が望む在宅療養生活を叶えたい。そんな思いで2002年の創業以来、日本各地で在宅療養サービスを展開してきました。

高齢化により在宅療養の重要性がますます高まる中、私たちはこれまで培ってきた知見をもとに、24時間365日体制の拡充や、スタッフ教育による専門性向上、アセスメントやケアの標準化などの取り組みを通じて、お客様一人ひとりのニーズに合わせた高品質なケアの提供に取り組んでいます。

たとえば、窓から見慣れた景色を眺めること。テレビで野球を観戦すること。お孫さんが遊びにくること。家はその方らしさが最も輝く場所であり、在宅療養を選ぶことはその方らしい「生き方」の選択だと考えます。今後も地域機関の皆様と連携させていただきながら、お客様の選択を実現できるよう力を尽くしてまいります。



## Vision 私たちが目指す未来

安心であたたかな在宅療養を  
日本中にゆきわたらせ、  
ひとりでも多くの方に、  
こころから満たされた人生を。

## Mission 私たちの使命

英知を尽くして  
「生きる」を見る。



## 訪問看護を主軸に 在宅療養を支えるサービスを提供しています



### 訪問看護

「住み慣れた場所で過ごしたい」というお気持ちに寄り添い、どんなに重い疾患の方でも安心して在宅療養生活を送っていただけるよう、24時間365日体制の拡充と、ケアの品質向上に力を注いでいます。



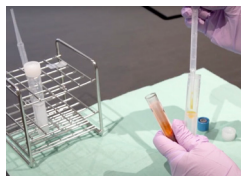
### リハビリ重視型デイサービス

都内4カ所で運営。理学療法士または作業療法士を専属で配置し、運動機能向上や栄養改善、認知症や廃用症候群等の予防メニューを充実させています。お客様の閉じこもり予防や自立支援に強みを発揮します。



### 居宅介護支援(ケアプラン)

7カ所\*の訪問看護ステーションに併設。医療職スタッフとの連携により、医療ニーズの高い方も自宅で過ごしやすいケアプランを作成します。地域の方々と丁寧に連携し、適切な解決策を見出します。  
\*2024年11月時点



### 在宅治験\*(DCT)

訪問看護師が治験参加者宅等へ訪問し、治験上必要な行為を実施するDCTサービスを運営。従来より被験者の負担が軽減され、新薬開発の加速につながります。食品を始めとする特定臨床研究においても実施しています。\*当社呼称

## このような場合は ソフィアメディ訪問看護ステーションへ お気軽にご相談ください

(受入れ体制は事業所により異なります)

医療機器の管理や  
医療処置が  
必要な方

在宅酸素、吸引、経管栄養、ストーマ管理、褥瘡処置、点滴等の医療処置も行っています。

退院直後からの  
訪問を  
希望される方

退院直後の連日訪問で、生活調整、病態管理、廃用症候群の改善を図り、再入院を予防します。

医療依存度の  
高い方

24時間365日の緊急対応体制で、夜間や早朝もお電話に対応。必要に応じて訪問も行います。

終末期の  
リハビリを  
希望される方

終末期のリハビリで、寝たきりなど不動に伴う痛みや不快感の軽減、QOLの向上に貢献します。

精神疾患を  
お持ちの方

症状の安定化・再発防止、社会的孤独の防止、生活リズムの改善・自己管理能力の向上に努めます。

医療的ケアや  
支援が  
必要なお子様

お子様への医療的ケアや、日常生活能力向上へむけたリハビリ、ご家族の心理的サポートに努めます。

## 事業所

地域の在宅療養インフラとして  
24時間365日体制を強化

ひとりでも多くの方に、安心であたたかな在宅療養を届けるため、事業所の大規模化を進めています。当社は全ての訪問看護ステーションにおいて24時間365日のオンコール対応を実施していますが、それに加え、土日祝日の定期訪問体制の拡充も進めています。

事業所あたりのスタッフ数  
(常勤換算 / 訪問看護ステーション)

12.0人  
(2022: 11.2人)

事業所あたりのお客様数  
(訪問看護ステーション)

154.7人  
(2022: 147.7人)

事業所数\*1

99カ所  
(2022: 99カ所)

\*1 事業所数・新規開設数は  
分室・サテライトを含む数

訪問看護ステーション

88カ所 (2022:86カ所)

居宅介護支援事業所

6カ所 (2022:8カ所)

特定事業所加算

① 0カ所 (2022:0カ所)

② 1カ所 (2022:1カ所)

③ 2カ所 (2022:2カ所)

デイサービス

4カ所 (2022:4カ所)

コーポレート部門

1カ所 (2022:1カ所)

24時間365日体制の  
訪問看護ステーション数

71カ所  
(2022: 64カ所)

※24時間365日体制とは、土日祝含む365日の定期訪問を実施することを指しております。なお、当社はすべての訪問看護ステーションにおいて24時間365日のオンコール対応を実施しています。

専門性の高い看護師を中心に  
ケアの質向上のための活動を実施

お客様のニーズを的確に捉え、適切かつ質の高いケアを提供するために、専門・認定看護師を中心とした同行訪問や社内コンサルテーション、マニュアル作成等を実施しているほか、キャリアアップ奨学金制度など専門性の高い人材を養成する仕組みを導入しています。

看護師数

765人  
(2022: 633人)



セラピスト数\*2

517人  
(2022: 508人)

\*2 セラピストは理学療法士、  
作業療法士、言語聴覚士の総称

専門・認定看護師数

26人  
(2022: 24人)



専門看護師

● 感染看護/老人看護/災害看護 各1人

認定看護師

● 緩和ケア 7人

● 皮膚・排泄ケア 4人

● 訪問看護 3人

● 集中ケア/摂食・嚥下障害看護(A課程) 各2人

● がん化学療法看護/がん性疼痛看護

クリティカルケア/認知症看護

脳卒中リハビリテーション看護 各1人

特定行為修了看護師数

6人  
(2022: 4人)

実績  
ハイライト

2023.04 ▶ 2024.03

超高齢社会で医療ニーズが高まる中、地域の皆様とともに、安心であたたかな在宅療養を届けるべく歩んだ2023年度の実績を、データとともにご報告いたします。

※事業所以外の項目は、訪問看護事業に関する実績を掲載しています。お客様数は、2024年3月末時点の数値です。お客様満足度調査は2023年度より設問を一部変更したため、昨年度数値の記載がありません。

## スタッフ

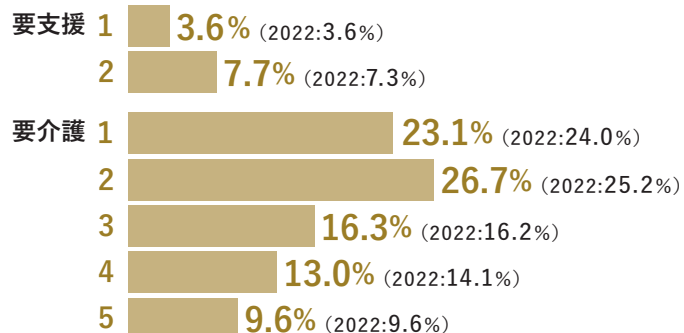
# お客様

## 医療依存度の高い方や 小児・精神科訪問看護の受入れを拡大

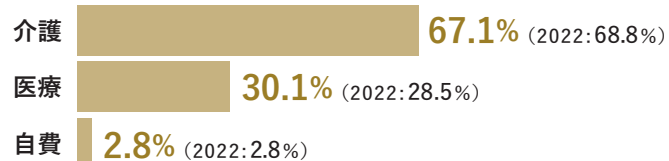
24時間365日体制をベースとした事業所の大規模化により、医療依存度の高い方の受入れが進み、医療保険を活用した訪問の割合が増加しました。また、小児・精神科訪問看護の受入れも強化し、それぞれのお客様数が増加しています。

お客様数 **13,615人**  
(2022: 12,704人)

### 介護度<sup>\*3</sup>



### 保険種別<sup>\*4</sup>



### 精神科訪問看護 お客様数

**978人**  
(2022: 800人)

### 小児訪問看護 お客様数

**513人**  
(2022: 472人)

\*3 2024年3月末時点の実績

\*4 2024年3月の月間訪問実績から算出。併用されている場合は、両方にカウント

## 顔の見える関係を大切に 関係機関の皆様との連携を強化

地域の皆様と質の高い連携を図っていくため、毎年満足度調査を行っており、今回は1,366名の方から回答いただきました。多職種で協働し質の高い医療・介護を提供していくために、今後も顔の見える関係を大切に、迅速かつ細やかな情報共有・連携に努めてまいります。

### 連携医療機関数

**4,486カ所** (2022: 4,228カ所)

### 連携事業所数 (居宅介護支援事業所)

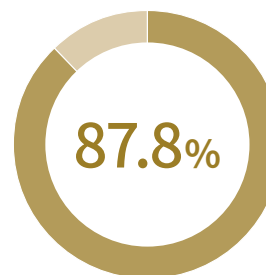
**3,293カ所** (2022: 2,936カ所)

# 地域連携



### 関係機関

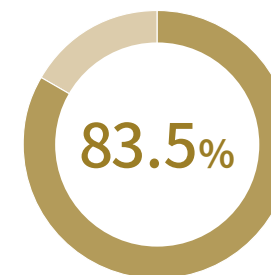
ステーションの管理者・  
スタッフは相談しやすいと  
感じる



回答者: 1,366人

### 関係機関

必要に応じて、迅速な対応かつ  
質の高い連携がとれると感じる  
(緊急時の対応含む)



回答者: 1,360人

# 医療依存度の高い方へのケア

どんなに重い疾患の方でも、24時間365日安心して過ごせる支援体制の構築

24時間オンコール対応や365日の定期訪問体制を整え、中重度のお客様数や各種算定数が増加しました。対応能力を病院と近い状態に保ち、かつ、在宅ならではの安心感や心地よさを感じていただけるよう、対象疾患を拡大させてまいります。

別表7の疾病を持つお客様数<sup>\*5</sup>

**1,160人** (2022: 1,138人)

別表8の状態に該当するお客様数<sup>\*6</sup>

**1,701人** (2022: 1,471人)

特別訪問指示書実施数

**52,680件** (2022: 40,279件)

特別管理加算算定数

**23,987件** (2022: 21,528件)

緊急訪問件数<sup>\*7</sup>

**6,494件** (2022: 5,865件)

24時間対応体制加算算定数

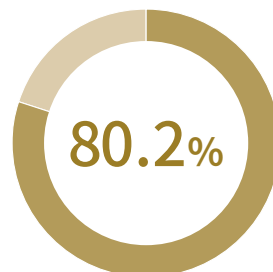
**2,288件** (2022: 1,578件)

緊急時訪問看護加算算定数

**4,973件** (2022: 3,610件)

関係機関

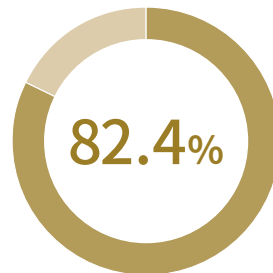
医療依存度の高いお客様を受入れる上で、十分な体制があると感じる



回答者: 1,351人

関係機関

医療依存度の高いお客様を受入れる上で、十分な専門知識を有していると感じる



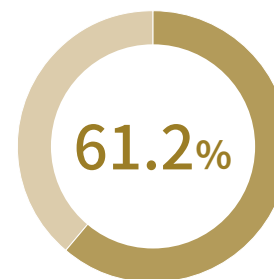
回答者: 1,353人

「最後まで自宅で暮らしたい。」  
意思を尊重した  
終末期ケアの提供

お客様やご家族のお気持ちに寄り添いながら、人生の最終段階を穏やかに過ごせるよう、ターミナルケアや看取りへの対応を進めています。今後、終末期ケアのニーズはさらなる増加が予想されます。QOD<sup>\*</sup>を高める医療の提供へ向け、研鑽を積み重ねてまいります。

<sup>\*</sup>略: Quality Of Death

在宅看取り率<sup>\*8</sup>



(2022: 66.6%)

ターミナルケア  
加算算定数

**893件**  
(2022: 881件)

エンゼルケア  
加算算定数

**1,005件**  
(2022: 961件)

<sup>\*5</sup> <sup>\*6</sup> 別表7とは厚生労働大臣が定める、医療保険による訪問看護が可能な疾病の一覧。別表7が「疾病」であるのに対し、別表8は厚生労働大臣が定める「状態等」の一覧 <sup>\*7</sup> 夜間または時間外の緊急訪問件数。

<sup>\*8</sup> 自宅・施設でご逝去された方の数/死亡者数で算出

# 終末期ケア



# お客様満足度



## お客様満足度調査を毎年実施し 改善へ向けた施策を実行

お客様のご要望にしっかり向き合うため、毎年調査を実施しています。今回は6,459名の方からご回答いただき、NPSは17.6という結果でした。ご意見を元に、品質の標準化と教育体制整備に特に注力しており、引き続き改善を進めてまいります。

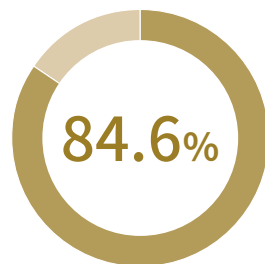
NPS\*9

ソフィアメディ  
訪問看護ステーションを  
知人に紹介しようと思う

17.6  
(2022:0.8)

お客様

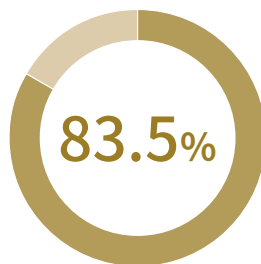
本人に合った  
看護・リハビリをして  
くれていると感じる



回答者:6,177人

お客様

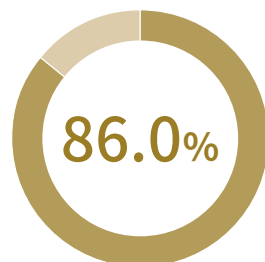
看護・リハビリの内容について  
分かりやすく説明して  
くれていると感じる



回答者:6,224人

お客様

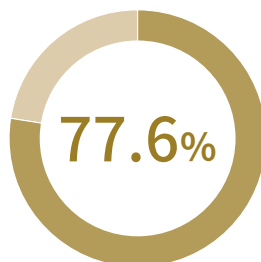
困っていることや不安に感じて  
いることについて、私に合った  
対応してくれていると感じる



回答者:6,254人

お客様

主治医・ケアマネジャー・  
ヘルパー等の関係者と十分に  
情報共有してくれていると感じる



回答者:6,133人

\*9 9～10点を付けた方を「推奨者」、7～8点を「中立者」、0～6点を「批判者」と分類し、回答者全体に占める推奨者の割合(%)から、批判者の割合(%)を引いた数値

## 多様化・複雑化する訪問看護のニーズに対応し 安心して過ごせる 在宅療養環境の実現を目指します

日本では少子高齢化の進行に伴い、訪問看護の利用者数は増加の一途をたどっています。さらに最近では、がん終末期の方や難病をお持ちの方、人工呼吸器を装着されている方などの医療ニーズが高いケースや、医療的ケア児の方、精神疾患や認知症をお持ちの方など、利用者の皆様の多様性も顕著になっています。症状の重度化・多様化・複雑化が進む中で、地域包括ケアシステムにおける訪問看護の役割が期待されており、私たち事業者にはそれに対応できるサービス提供体制の構築が求められています。

ソフィアメディは「安心であたかな在宅療養を日本中にゆきわたらせ、ひとりでも多くの方に、ここから満たされた人生を。」という理念のもと、この多様化したニーズに応えられるよう体制整備を進めています。2023年度は特に事業所の大規模化や中重度のお客様の受入れ拡大、そして提供するケアのさらなる品質向上に重点を置き取り組みました。具体的には、土日祝日を含めた365日の定期訪問体制の拡充、医療職

の人材確保と育成、生産性向上に伴う訪問時間の確保などにより、医療依存度の高い方でも安心して療養できる環境を整えてきました。また、お客様ごとの個性の高いニーズを捉え、その方に合った適切なケアを提供するため、専門・認定看護師と品質向上・育成の専門組織を中心に、アセスメントやケアの標準化に努め、全社を横断した取り組みを行ってきました。

「最後まで自宅で暮らしたい。」  
「家族のそばにいたい。」  
「自分自身で暮らし方を選びたい。」  
— 今後も私たちは、病気だけでなく「生きる”を見る」という理念のもと、お一人おひとりの意思を尊重したケアを提供できるよう、また地域から期待される機能を果たし、持続可能な医療インフラの要諦となれるよう、強い意志を持って努力を続けたいと存じます。



代表取締役社長  
伊藤 綾

## Case 01

# ご本人のご希望を実現するための 多職種連携でのケア

70代

医療保険

**疾患名** 大脳皮質基底核変性症、喉頭癌、声帯癌

**ご要望** 「自宅で好きなことをしながら暮らしたい」と  
2021年より当社を利用

**同居家族** 妻様と二人暮らし



**訪問体制**

看護師(週5回)・理学療法士(週1回)

作業療法士(週1回)・言語聴覚士(週1回) (2024年3月時点)

### 誤嚥を防ぎ食事を楽しむため、多職種で支援

慢性的な誤嚥があり胃ろうを造設されていましたが、「食べることを楽しみたい」というご本人のご希望を実現するため、主治医の許可のもと、多職種で支援させていただきました。具体的には、看護師が喀痰吸引や食事介助を行いながら、誤嚥リスクのモニタリングを徹底。言語聴覚士は嚥下機能の評価や訓練を実施し、お客様の嚥下能力に応じた安全な食形態やリハビリを提供できるよう努めました。また、ご家族への吸引指導や作業療法士による喀痰吸引で、吸引頻度の調整を行いました。このように、適宜医師と連携の上で誤嚥のリスクを最小限に抑え、お肉や天ぷらなどのお食事を長く楽しんでいただくことができました。他にも、趣味の競馬やご家族との時間など、ご本人がご希望された過ごし方を実現できるよう、妻様を中心に主治医や薬局、訪問入浴の方と連携させていただきました。

#### 看護

水分・食事摂取量確認、口腔ケア、排泄ケア、褥瘡処置、服薬管理、家族指導 など

#### リハビリ

基本動作練習、車椅子乗車練習、ストレッチ、呼吸リハビリテーション、摂食嚥下機能練習、口腔ケア など

#### 担当スタッフ

「ショートステイに車椅子で行くこと」「トイレに行くこと」「好きなものを食べること」など時期ごとの目標へ向け、スタッフ間で何ができるかを話し合いながら、妻様を中心にチーム一丸となってサポートさせていただきました。訪問が終わる際は、いつもご本人が「ありがとう、ありがとう」と言いながら握手をしてくださり、とても嬉しかったです。





## Case 02

# 看護師と理学療法士の連携により、 活力や身体機能が改善

要介護 5

90代

介護保険

**疾患名** 認知症、うっ血性心不全

**ご要望** 「自宅でゆっくり過ごしたい」と、  
2018年より当社の訪問看護を利用

**同居家族** 弟様と二人暮らし

**訪問体制** 看護師(週2回)・理学療法士(週3回) (2024年10月時点)

### ご家族の状況に応じた多職種連携で、在宅療養をこれまで6年間ご支援

同居されていた夫様が入院され、また、ご家族も持病があることで、一時は十分な介護が難しい状況でした。その影響で食事量が低下した際は、看護師がいち早く状況を察知し、理学療法士と情報を共有。看護師による食事介助に加えて、理学療法士によるとろみをつけた飲水介助を増やすなどの対応を実施しました。その結果摂取量が向上し、その上でリハビリを進めることで、ご自身で腕を動かしたり手掌を開閉されるなど、身体機能の改善が見られています。

他にも、ご家族の状況が変化した際には、地域包括支援センターの保健師やケアマネジャー、ヘルパー、ご家族と当社看護師での担当者会議を実施するなど、ご家族がどのような状況にあっても在宅生活を続けられるよう、あの手この手で多職種連携を行い、状況に応じたサポート体制を整えています。

#### 看護

清潔ケア、腹部マッサージと排便、食事飲水介助、褥瘡処置、服薬管理、家族指導 など

#### リハビリ

座位・立位保持、筋力強化、ストレッチ、ポジショニング など



#### 担当スタッフ

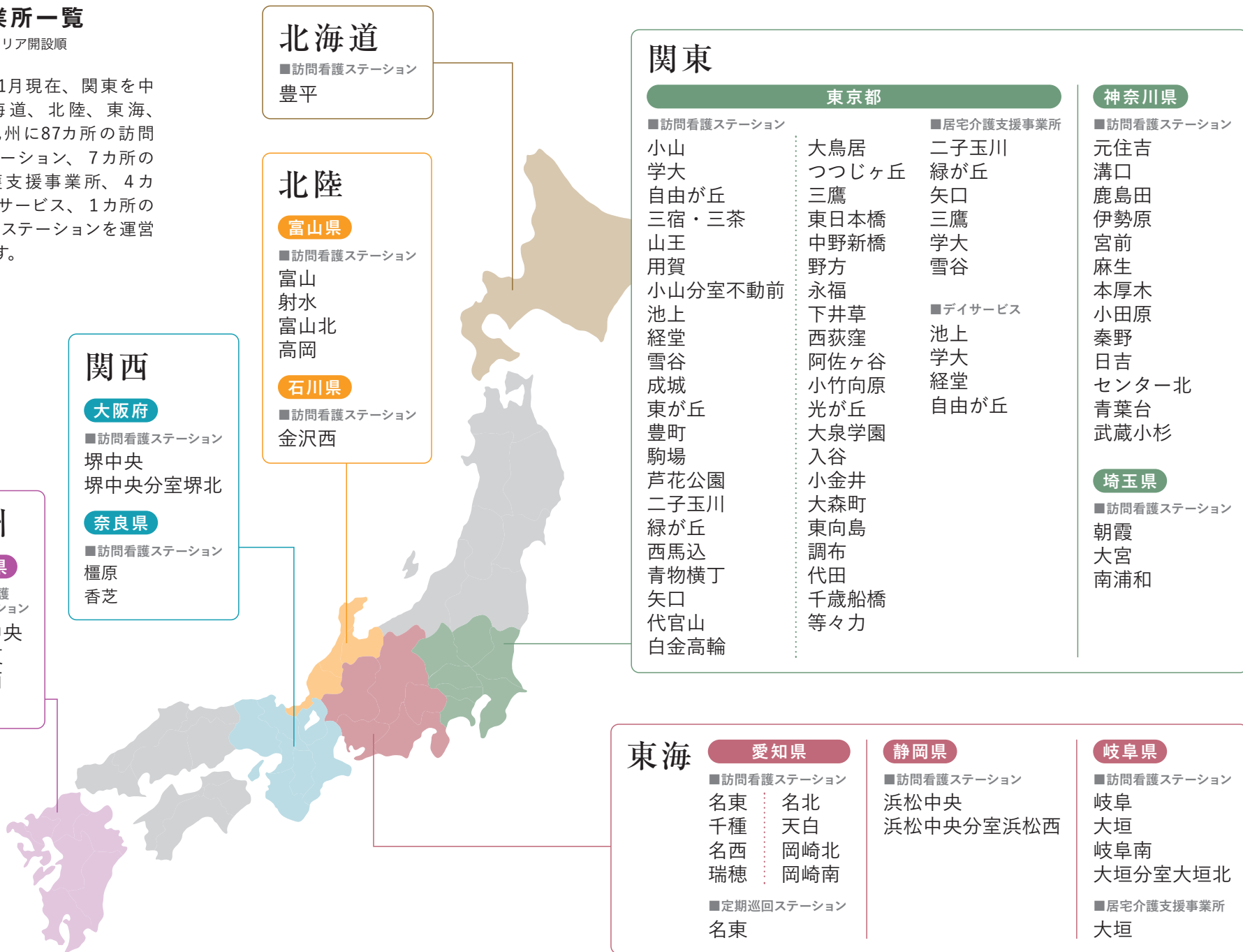
認知機能が低下しても声掛けを変わらず行ったことで発語が増え、笑顔も見られるようになりました。先日はリハビリ後に、立位で踏ん張っていらっしゃる姿が見られました。回復が見られたら、ご家族とスタッフ皆で喜び励みにしています。ご本人はもちろん、ご家族にも心地よく過ごしていただけるよう、引き続きサポートさせていただきたいと思っております。



## ■ 事業所一覧

※各エリア開設順

2024年11月現在、関東を中心に北海道、北陸、東海、関西、九州に87カ所の訪問看護ステーション、7カ所の居宅介護支援事業所、4カ所のデイサービス、1カ所の定期巡回ステーションを運営しています。



### 北海道

■訪問看護ステーション  
豊平

### 北陸

■富山県  
■訪問看護ステーション  
富山  
射水  
富山北  
高岡

■石川県  
■訪問看護ステーション  
金沢西

### 関西

■大阪府  
■訪問看護ステーション  
堺中央  
堺中央分室堺北

■奈良県  
■訪問看護ステーション  
橿原  
香芝

### 九州

■福岡県  
■訪問看護ステーション  
福岡中央  
福岡東  
福岡西  
小倉

### 関東

東京都		神奈川県
■訪問看護ステーション	■居宅介護支援事業所	■訪問看護ステーション
小山 学大 自由が丘 三宿・三茶 山王 用賀 小山分室不動前 池上 経堂 雪谷 成城 東が丘 豊町 駒場 芦花公園 二子玉川 緑が丘 西馬込 青物横丁 矢口 代官山 白金高輪	大鳥居 つつじヶ丘 三鷹 東日本橋 中野新橋 野方 永福 下井草 西荻窪 阿佐ヶ谷 小竹向原 光が丘 大泉学園 入谷 小金井 大森町 東向島 調布 代田 千歳船橋 等々力	二子玉川 緑が丘 矢口 三鷹 学大 雪谷
	■デイサービス	
	池上 学大 経堂 自由が丘	元住吉 溝口 鹿島田 伊勢原 宮前 麻生 本厚木 小田原 秦野 日吉 センター北 青葉台 武蔵小杉
		■埼玉県
		■訪問看護ステーション
		朝霞 大宮 南浦和

### 東海

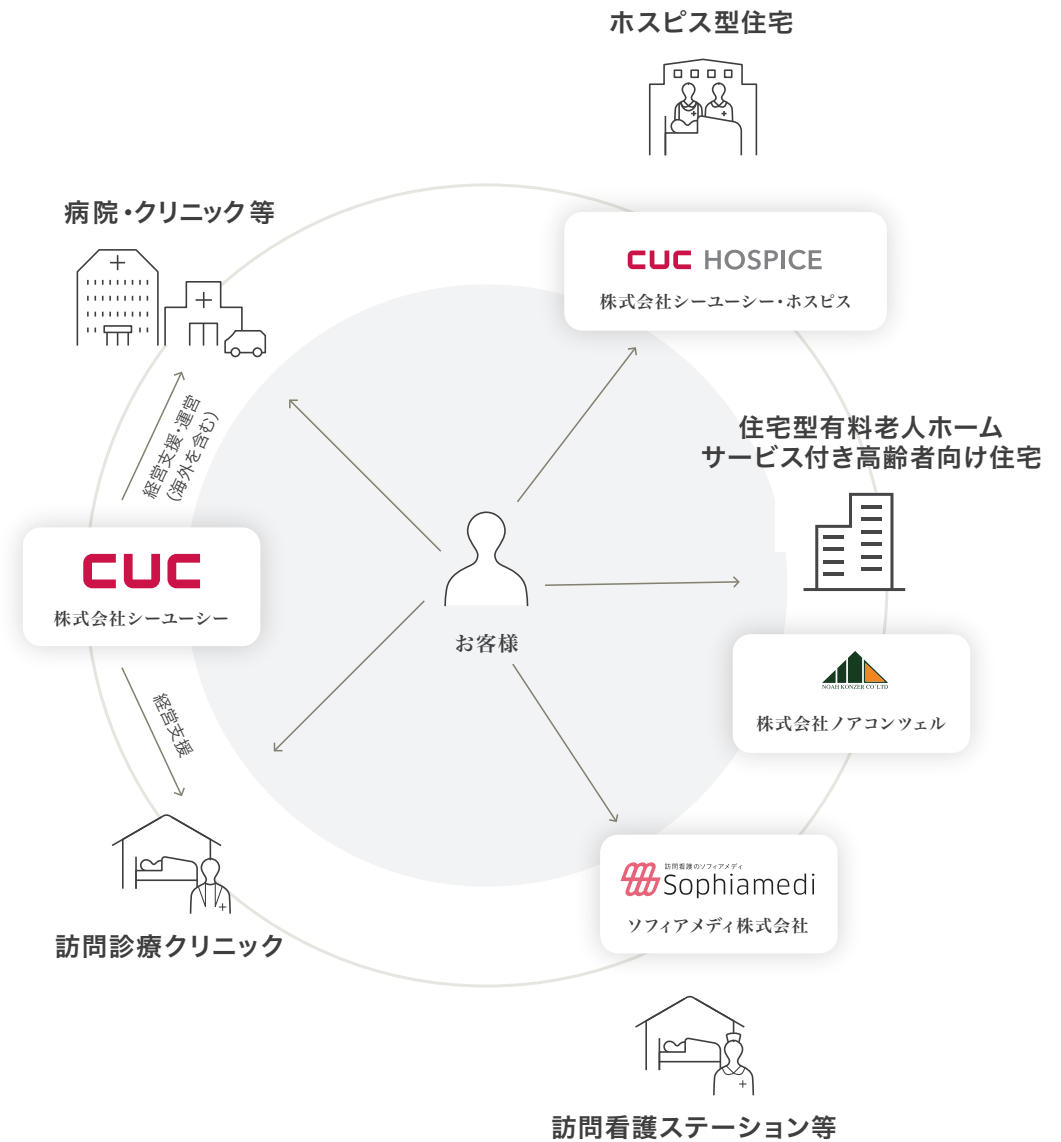
■愛知県  
■訪問看護ステーション  
名東  
千種  
名西  
瑞穂  
■定期巡回ステーション  
名東

■静岡県  
■訪問看護ステーション  
浜松中央  
浜松中央分室浜松西

■岐阜県  
■訪問看護ステーション  
岐阜  
大垣  
岐阜南  
大垣分室大垣北  
■居宅介護支援事業所  
大垣

## 地域の方々が 適切な医療にアクセスできるよう 選択肢を拡充させています

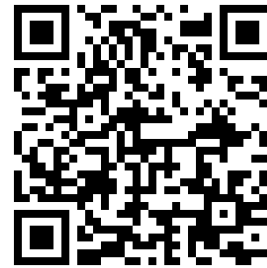
ソフィアメディが属するCUCグループは、「医療という希望を創る。」をミッションに、医療課題の解決に取り組む企業グループです。支援先医療法人への経営支援をはじめ、訪問看護ステーションやホスピス型住宅等の運営を通じ、一人ひとりのニーズに切れ目なくお応えできるよう、体制を強化しています。



## ソフィアメディ 活動レポート 2024



ソフィアメディ  
公式ホームページ



お問い合わせや  
ご相談はこちら

2024年12月発行

ソフィアメディ株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦3丁目1-1 msb Tamachi 田町ステーションタワー N

■ **報告対象期間** 2023年4月1日～2024年3月31日を対象としています。必要に応じて当期間の前後についても言及しています。

■ **制作協力** デザイン/studio GIVE

■ **注意事項** 本レポートは、当社の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社グループの発行する株式及びその他有価証券の勧誘を構成するものではありません。本レポートでは過去と現在の事実のみならず、将来の見通しに関する記述が含まれています。そのため、一定のリスクや不確実性を内包しており、過度に依拠することのないようご注意ください。本レポートには、当社が事業を行っている市場に関する情報を含む、外部の情報源に由来し又はそれに基づく情報が記述されています。これらの記述は、本資料に引用されている外部の情報源から得られた統計又はその他の情報に基づいており、それらの情報について当社は独自に検証を行っておらず、その正確性又は完全性を保証することはできません。当社は、本レポートに含まれるいかなる情報についても、今後生じる事象に基づき更新や改訂の義務を負うものではありません。